

ユネスコ創造都市ネットワーク 浜松市による加盟申請書（要旨）

■はじめに（申請書本文「4」に該当）

浜松市が登録される意義と重要性について

- 1 アジアで初めての音楽都市の誕生は、ユネスコが提唱する文化的多様性の実現に資する。
- 2 地域資源と人材を活かして、産業都市から創造都市への転換を果たし、さらにグローバル化とIT社会に対応した未来の音楽文化を発信・提案できる。
- 3 外国人との交流や共生に取り組んできた浜松市が加盟することは、世界各地の課題である多文化共生の面において、創造都市ネットワークの発展にとって有意義である。
- 4 世界中がそれぞれの文化を背景に、大きな変革期にある国際社会において、望ましい未来のために何ができるのかという命題に浜松市は取り組む用意がある。

■創造性に関する資源や取り組み（申請書本文「5」に該当）

(1) 文化事業

浜松市では、文化事業として、国際音楽コンクール世界連盟に加盟している「浜松国際ピアノコンクール」「静岡国際オペラコンクール」が開催されている。また、「浜松吹奏楽大会」「バンド維新」など特色ある音楽事業が多く開催されている。



(2) 人材・関連団体・拠点

浜松市では豊富な音楽人材を活用して、地域や学校に指導者や演奏家を派遣している。浜松市合唱連盟への加盟団体は 192、浜松市吹奏楽連盟への加盟団体数は 101 と、多くの音楽団体が活動している。活動拠点として、日本で初めて四面舞台が設置されたアクトシティ浜松のほか、多くの施設がある。

(3) 教育・人材育成

公的な教育機関として、浜松には音楽科を擁する高等学校が 2 校あるほか、静岡文化芸術大学ではアートマネジメントなどの講義により、演奏会の企画運営やホール運営に携わる人材を育成している。

浜松には音楽に関する多彩な教育プログラムもある。特に、浜松市が実施している教育プログラム「アクトシティ音楽院」では、「浜松国際ピアノアカデミー」「浜松国際管楽器アカデミー」や、「主催者育成セミナー」などを開催している。

(4) 浜松の音楽関連産業

さらに、浜松には、ヤマハ、カワイ、ローランドなど国際的な楽器産業の本社が集積している。いずれの企業も楽器の製作のみならず、積極的に音楽文化の振興を支援している。また、ヤマハのボーカロイド、ローランドの電子チェンバロなど、各社の革新的な技術は、新たな文化を創造している。

■創造都市ネットワークに対する貢献（申請書本文「6」に該当）

（1）地域・国内における活動

2014年には、企業、各種団体および行政が、相互に連携してクリエイティブシティ形成を推進するための新組織を設置するとともに、「浜松市音楽高等教育機関設置構想検討委員会」を立ち上げる。

パイロット事業「みんなのはままつ創造プロジェクト」では、事業者を育成したり、潜在するアーティストを可視化したりするとともに、音楽、アートなど様々な分野の事業者同士の連携を促進する。

2013年には、多文化共生都市ビジョンを策定し、重点施策のひとつとして「多様性を生かしたまちづくり」を掲げた。多文化共生への取り組みを推進していくことで地域レベルでの創造性の向上とマイノリティによる創造力と表現力の強化に努めていく。

また、「創造都市ネットワーク日本」に浜松市はいち早く参加し、音楽だけでなく、デザインや食文化などあらゆる分野で地域活性を図る都市と交流している。

なお、静岡文化芸術大学や浜松市文化振興財団では、音楽を通じて東日本大震災の被災地支援を行っている。今後も、音楽を通じた被災地支援を継続していく予定である。

（2）国際的な活動

浜松市はこれまで音楽的な資源を活かし、ロチェスター市（アメリカ合衆国）、ワルシャワ市（ポーランド）等と交流協定などを締結している。また、UCLG（都市・自治体連合）に加盟し、世界の諸都市との連携を推進するなど国際交流の実績が豊富にある。

浜松市はユネスコの設立理念に鑑み、次の5つの基本方針に基づき、各種事業を企画・実施していく。

第1に、世界的音楽イベントを通じて国際交流を推進する

アジアで初めての音楽創造都市として、浜松市が中心となって音楽を通じた国際交流を積極的に推進していく。2015年には、『音楽を通じた文化的多様性に関する国際会議』を開催する。2016年には「世界民族音楽の祭典 in 浜松」を開催する。

第2に、音楽を通じた異文化理解と文化的多様性の実現を図る

浜松市楽器博物館のこれまでのノウハウを活用し、世界の共通言語である音楽の背景にある歴史・文化・風俗・生活様式など各国の民族性、地域性にもスポットを当てた異文化理解を促進する学術シンポジウムの開催などを行う。

第3に、国際レベルの人材の育成と交流を行う

発展途上国の音楽文化向上に貢献するために、楽器贈呈や音楽指導者の派遣、若手音楽家への演奏やトレーニングの機会の提供などを行う。静岡文化芸術大学では、イタリアのボローニャ大学と交流協定を締結し、学際的な研究交流を行う。



第4に、サウンドデザインの聖地としての貢献をする

創造産業を創出する観点から、デザインやメディア・アートなどの他分野の創造都市とも協働したプロジェクトを起こしていく。

第5に、新しい価値を創造するファンタジスタを輩出する

既成概念に捉われない自由な発想ができる人材を生み出す地域性と進取の気質に富む市民風土を活かしながら、音楽分野だけにとどまらず、他分野の創造都市とも積極的に交流し、新しい価値を創造するファンタジスタの輩出を目指す。

■コミュニケーションと可視資源（申請書本文「7」に該当）

(1) 創造都市に寄与する情報発信

2009年に「浜松市文化振興ビジョン」を、2013年には「“創造都市・浜松”推進のための基本方針」を市民に示した。浜松市では市報を月に1回発行しているほか、公式HP、公式フェイスブックなどを利用して政策やイベントに関する情報を提供している。

(2) マスメディア

市政記者クラブに加盟しているマスメディアは16社あり、定期的に記者会見を開催して政策に関する情報発信を行っている。そのほか、コミュニティエフエム放送やケーブルテレビ、文化情報誌など地域に根ざした媒体がある。「ハママツ・ジャズ・ウィーク」「中部日本吹奏楽大会」はメディアが主催する文化事業である。



(3) 浜松市による顕彰プログラム

浜松市による顕彰プログラムとしては、「浜松国際ピアノコンクール」「静岡国際オペラコンクール」「浜松市教育文化奨励賞」がある。

(4) 受賞等による認知

浜松市は2011年度に文化庁長官表彰（文化芸術創造都市部門）を受賞した。

(5) イベント

2011年には「世界創造都市フォーラム」を開催した。議論の成果は以下のとおりアジェンダとして採択した。

- (1)各都市が保持している“創造力の源泉”を探求し、市民・事業者・行政がともにその重要性を認識する。
- (2)市民、音楽家、事業者と行政の連携により、創造的文化産業に関わる人材の育成に努める。
- (3)創造都市間の連携によって、文化と産業の連環したまちづくりをすすめ、市民生活の質的向上を図る。
- (4)音楽都市のサブネットワークにより、固有の文化芸術を発信するとともに、創造的音楽文化産業の活性化を図る。

■予算（申請書本文「8」に該当）

人件費	6,642,384ドル
設備費	5,400,233ドル
コミュニケーション費	423,107ドル
サービス費	23,909,825ドル
会議費	53,291ドル
合計	36,428,840ドル